

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	選択独語第二		
英文授業科目名	Elementary German (Elective) II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	湯川 敬弘		
居室	東1-607		

公開E-Mail	授業関連Webページ
t-yukawa@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
(主題) 選択独語第一に引き続き、同じ主題の下に行く。 (達成目標) 簡単なドイツ語の文を正しく発音し、読めるようになる。

【前もって履修しておくべき科目】
独語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし、

【教科書等】
教科書：『ドイツ語を読む文法』（湯川敬弘 第三書房）

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容 : 第一にひきつづきドイツ語を読むための最低限の文法をみにつける。

- ・助動詞構文と不定詞句
- ・完了文
- ・過去
- ・分離動詞
- ・関係代名詞

などについて統一的に授業を進める

(b) 授業の進め方 :

第一に同じ。教科書以外にプリント問題も含めて、演習を行う。適宜小試験。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法 : 成績評価 宿題・小試験 30%
期末試験 70%

(b) 評価基準 : 文章の構造を文法に従って解析し、その上で意味を考えるとすることの意味をほぼ理解していること。

ドイツ語の発音を容易にできること。

【オフィスアワー : 授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前に連絡すること。

【学生へのメッセージ】

積極的に質問すること。質問できることは一つの大事な能力です。

言語能力はその人の母語の能力に応じて、誰にでもあるものです。最初は反復あるのみ。

【その他】

第一でとった曜日の授業を引き続けてとること。